

ツリガチ!

撮影/文◎本誌編集部

東京湾奥の バチコンアジング

★ヨッシーが釣り上げた36センチのアジ

★ヒットルアーはジャッカル・ベケリング3インチのグローチャート

★値千金の1尾をキャッチ

NGRは
うれしいね!



◎八景沖の水深25メートル前後ではエサ釣りで体高のあるアジがたくさん釣れた



◎シケ後の食い盛りの中、エサ釣りの竿頭は25尾



NGRはうれしいね!

★アジがヒットすると緩めに調整したドラグから道糸が引き出されていく

誘いがピタリとハマればエサ釣りと同じくらい釣れるときもあるし、ハマらなければアジがいるのにまったく釣れないこともある。その奥深くで難しいところがおもしろくて、近年、人気急上昇中の釣りである。

ヨッシーこと吉岡進がエサ、ルアー釣りを問わず、様々な釣り物にガチでチャレンジしていく連載「ツリガチ!」。第5回は東京湾奥のバチコンアジング。バチコンとはバーチカルコンタクトの略称で、胴つき1本バリ仕掛けに軽量のジグヘッドリグを付けて船下に投入し、2〜3インチのソフトルアーでアジを狙う。



▲釣り場は八景沖の水深15〜25メートル前後

▲竿先に出る小さなアタリを見逃さないよう注視
▶エサ釣りに便乗させてもらったバチコン組は右舷に並んだ



▲左舷はエサ釣りの方が3人並んで入る



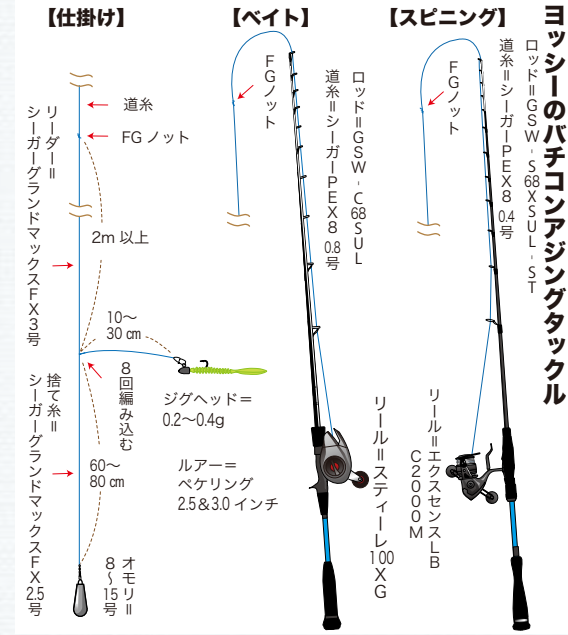
Profil ◆よしおか すずむ
1982年生まれ。ヨッシーの愛称で親しまれている。一つテンヤマダイ、ライト系オフショアルアーを得意とする。ジャッカルソルトプロスタッフ、シーガーインストラクター。

◆本編(62ページより)は高橋剛が執筆。沖釣りの楽しさをヨッシーとともにお伝えします!



▲いつでも即合わせできるように構えておく
▲50センチ刻みで巻き上げて底上5メートルまで探る

バチヨンのタックル



ヨッシーのバチコンアジングタックル



▲バチコンアジングではソフトルアーを安定させるために軟らかいロッドを使う



▲ソフトルアーは2~3インチでジャッカルのパケリングのようなストレートタイプがおすすめ。カラーはナチュラルとアピールの両方をそろえておこう



▲沖揚がり直前にヒットパターンを見つけたタカハシゴ。「バチコンアジング最高！」



▲バチコンアジング初挑戦の板倉さんも本命を手にしてニンマリ! 「苦しい時間帯もありましたが釣れてよかったです」



▲開始から5時間、ラスト15分でトリプルヒット!

適材適所で
タックルを
使い分けよう

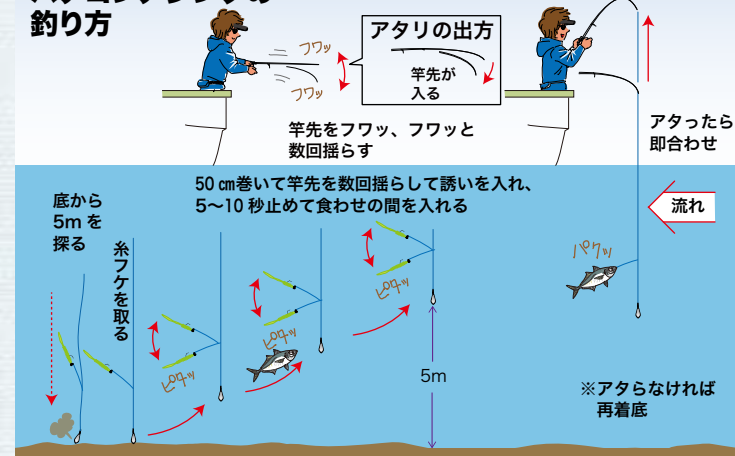
バチヨンの釣り方イメージ

●基本は仕掛けを底まで落とし、着底したら糸フケを取り、50センチ巻いて数回竿先を揺らしてソフトルアーをアピールさせる。続いて5~10秒止めて食わせの間を入れる。これを底から5メートル上まで誘い上げる。止めているときは竿先を見て、アタリがあればロッドを立てて即合わせする。



▲竿先に出る小さなアタリをとらえて合わせるのがバチコンアジングのだいご味

バチコンアジングの釣り方



#船宿インフォメーション

東京湾奥 金沢漁港 **仁春丸**

☎045-781-8537 (詳細は巻末の情報欄参照)

- 料金=ショートライトアジ乗合一人7000円(エサ、コマセ、氷付き)
- 備考=7時20分出船。バチコンアジングの場合は事前に電話確認を



▲周年ショートライトアジ乗合で出船。ほかにスポットでタイラバも楽しめる
 ▲小泉 学船長(右)

★オモリ12号を使用した水深15メートル前後ではスピニングタックル、オモリ15号を使った水深25メートル前後ではベイトタックルで遊んでみた

10月上旬に釣行したのは東京湾奥金沢漁港・仁春丸のショートアジ乗合。小泉学船長が向かった釣り場は港至近の、八景沖水深15~25メートル前後。
 ポイントに到着するとエサ釣りの方が25~30センチ前後のアジをポツポツと取り込み始める。
 ヨッシーがアタリをとらえたのは開始から3時間後、ギョウギン走り回りながら上がったのは36センチの良型アジだった。
 今回は、バチコンスタイルで東京湾奥のアジに挑んだヨッシー。詳しくは62ページからの本編にて!

▼「あきらめないでよかったです」と鹿島さん

